

高性能プレート式熱交換器

日阪製作所、8機種に

新形状を採用

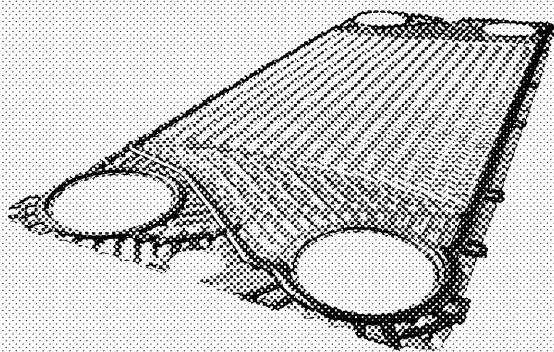
日阪製作所は伝熱性能を従来比10%向上させた汎用プレート式熱交換器「ZEXシリーズ」の製品ラインアップを拡充し、提案を本格化する。2029年3月期までに現在の2機種から8機種に増やす。ビル空調設備、工作機械向けなどに加えて、半導体、製薬、無機化学向けなどに用途を広げる。10月にはウェブサイトでの販売も開始し、販売効率化を進める。29年3月期に年間売上高40億円規模を目指す。

ZEXシリーズは25年に発売。プレートのは、重ね合わせた複数は、プレート式熱交換器

のプレート間に水などを流し熱交換する仕組み。流れが折り返される際に乱流が発生することで、伝熱性能が向上する。ZEXシリーズは形状見直しで乱流の発生回数が増えるようにした。ただ乱流を増やすと圧力損失も増え、必要なポンプ圧力も大きくなる。このため流路を狭めない構造とすることで圧力損失を抑え、高効率な熱

交換を実現している。通路孔付近の形状も見直してプレートがズレにくくしたことで、長寿命化も期待できる。ZEXシリーズは10月以降、同社電子商取引（EC）サイトで、現場の温度や流量といった情報を入力して設計シミュレーションをした上で、営業担当者

新型プレート式熱交換器「ZEXシリーズ」の伝熱面形状



を介さず直接購入できる。従来も汎用製品では、ウェブサイトで設計シミュレーションができたが、購入するには営業担当者への見込み依頼が必要だった。29年3月期の売上高40億円目標のうち、約5億円をECサイトで販売したい考え。

日阪製作所はプレー

ト式熱交換器で国内シェア6割。
化学プラントや発電所向けなど大型分野では顧客の要望に応じたカスタマイズ製品が中心だが、ビル空調設備や工作機械向けなど小型分野では汎用製品が増えている。